

生命の尊厳

猪風来の土偶展

会期 2018年9月1日(土)~11月25日(日)

わが子をわが手に授かる感動。母なる大地から氷雪を割って野草木と鳥獣虫魚の豊饒なる生命湧き立つアイヌモシリ。縄文造形家・猪風来は1986年から北海道の大自然に暮らし、四男をみずから助産し柔らかくあたたかい鼓動に触れたとき、この生命の尊厳と祈りこそが“縄文の心”なのだと開眼した。そこから縄文造形の根元に根ざした作品を多数制作する。子を宿した母のふたつの命の輝きを表現した『妊婦』、赤子の生命力とそれを産み出す命がけの躍動美『出産』、あわい生命を両手に授かった感動を表した『授受』、大自然と万物に祝福される生命の喜びにあふれた『宙およぐゲンヤ』——現代縄文造形の原点というべき《生命のシリーズ》から、縄文野焼き作品と絵画約30点を展示。どうぞご高覧ください。



猪風来美術館
新見市法曾陶芸館

〒719-2552 岡山県新見市法曾609

TEL・FAX 0867-75-2444

<http://www.ifurai.jp/>

縄文野焼き技法の第一人者であり、現代縄文アートの創始者として知られる作家・猪風来(いふうらい)。

猪風来美術館(新見市法曾陶芸館)では縄文野焼き作品をはじめ、法曾焼、絵画など、独自の縄文スパイラル造形による作品二百数十点を常設展示しております。

【開館時間】午前9:30～午後5:00

【休館日】月曜(祝日は開館・翌火曜休館)

【観覧料】一般400円/高校生200円

【アクセス】岡山から車で約90分

岡山空港から車で約70分

賀陽ICから車で約45分

新見ICから車で約30分

井倉駅からタクシーで約15分

方谷駅からタクシーで約10分